

プログラミング 開始へ教員研修

【音更】町内小学校教諭を対象にしたプログラミング教育研修会(町教委主催)が17日、木野東小学校(山田洋校長)で開かれた。2020年度からの小学校プログラミング教育の全面実施に向けて開催。NPO法人教育支援協会北海道(帯広、榎本尚世代理事)の白石友柄専務理事と十勝教育局教育支援課義務教育指導班の山田圭介指導主事を講師に招いた。

ゲームづくりに挑戦する教諭たち



全13校から教諭22人が参加。プログラミング体験(実習)では、白石さんの指導で、米マサチューセッツ工科大が開発した教育用プログラミングツール「Scratch(スクラッチ)」

を使い、パソコン上でネコを動かす「ネコたたき」のゲームづくりに挑戦した。各自、画面の背景やネコの動きの速さや大きさなどの変化を工夫しながら、プログラミング的思考を体験した。

白石さんは「プログラミングの楽しさや面白さ、達成感を味わうことが大事」と強調。同校の大原幸太教諭(23)は「自分にとっても児童たちに向けても、どうしたら効率良く理解できるかが分かった」と話していた。

山田指導主事は文科省が公表している「小学校プログラミング教育の手引き」を紹介し、小学校への導入の狙いや指導の考えなどを解説した。

(村西信一通信員)